



防衛医大病院広報誌 第17号 2025年5月発行  
企画・編集 防衛医科大学校病院 患者支援センター  
発行責任者 塩谷 彰浩  
住 所 〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2  
T E L 04-2995-1511 (代表)



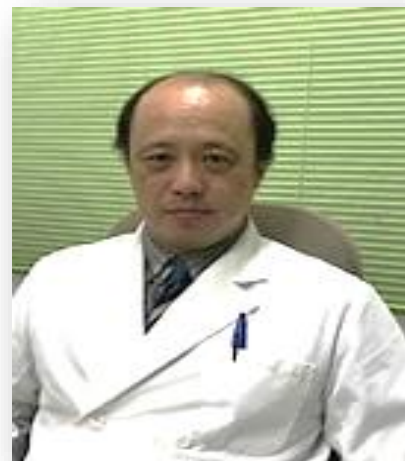
まもる

# 防衛医大【護】通信

副院長就任挨拶 足立 健（循環器内科 教授）

2025年4月1日付で副院長（管理運営担当）に着任いたしました、足立健です。本名はタケシですが、留学中の米国ではケンと呼ばれていました。私は2008年より防衛医大循環器内科勤務、2010年より循環器内科教授として本院で勉強させていただいております。着任時より「顔の見える関係」が大事であると考え、医師会や地域の先生方との交流を大切にしてきました。今後さらに幅広い医療関係者の方々と良い関係を築きたいと思っております。

今まで、慶應義塾大学病院、佐野厚生総合病院、足利赤十字病院、さいたま市立病院などで研鑽を積ませていただき、米国ボストンでは循環器研究で Assistant Professor を務めさせていただきました。その経験を活かして防衛医大病院では循環器救急医療と共に、不整脈、心不全、肺高血圧症などの先進医療を進め、基礎・臨床研究を発展させてきました。同時に内科学会・循環器系学会での各種委員や、脳循環器基本対策法の埼玉県部会に委員として参加させていただきました。そこで県の救急体制を見直し、地域の境界を超えた大動脈疾患搬送体制、埼玉大動脈ネットワーク（S A N）を立ち上げました。



また急増する心不全医療に対しては他職種連携が必要と考え、院内での心不全療養指導士の育成も推進しています。がん患者さんの予後改善を目指して、教室を上げて腫瘍循環器学の勉強も進めています。

防衛医大病院は病床数や救急患者受け入れ数に限りがありますが、運営を工夫してそれを拡大し、大学病院としての高度先進医療・重症者の集中治療にも力を入れていきたいと思っております。皆様の、御指導・御鞭撻をいただきながら、「高度で安全な医療を提供しつつ地域医療に貢献する」本院の理念を胸に頑張りたいと思っております。

引き続き、よろしく御願い申し上げます。

## 診療科紹介 眼科 教授 竹内 大



<防医大病院眼科HP>

当科は、眼の炎症性疾患であるぶどう膜炎の他、白内障、緑内障、糖尿病網膜症や網膜剥離などの網膜硝子体疾患、黄斑上膜、黄斑円孔、加齢黄斑変性などの黄斑部疾患、視神経疾患を専門とした診療を行っています。地域の中核病院として機能するために必要な最新の検査機器、手術用装置を常備し、近隣、西埼玉、西東京の先生方との医療交流を深めることを目的とした講演会を年に2回、近隣眼科クリニックとの症例検討会を年に1回開催しています。医療の進歩は日進月歩であり、最善、最良の医療を患者さんに提供できるようにソフト、ハードの両面での充実を日々努めています。



### (外来)

外来診療は、木曜日を除く月曜日から金曜日、初診を含む一般外来、後述の専門外来を設置しています。診療は7診体制で行い、角膜形状解析、光干渉断層計 (OCT)、光干渉断層血管造影

(OCTA)、超広角眼底観察装置、フルオレセイン (FA) + インドシアニングリーン (ICG) 蛍光眼底造影、自発蛍光などの検査は、患者さんをお待たせすることもあります。受診当日に行なっております。

### (手術)

手術日は月曜日と木曜日の2日で、月曜日の午前中は中央手術室の1室、その他は2室を使用しています。1室はヘッスアップサージェリー専用室となっており、最新のカラーコントラスト調整 NGENITY3D システムを使用し、乱視矯正はオーバーレイによるデジタルマッピングで行っています。また、術中 OCT を用いた硝子体手術により、硝子体出血などで術前黄斑部解析が不可能であった症例の黄斑病変に対する治療も可能です。(写真3)。2020 年度より日帰り白内障手術を導入し、入院手術が必要と考えられる、もしくは希望される患者さん以外は日帰りにて行なっています。



手前からOCTA、OCT



広角眼底観察・蛍光眼底 (FA、ICG)・自発蛍光装置



ヘッスアップサージェリー中の風景。左奥にあるのが術中OCT装置

### (専門外来)

すべての眼科専門領域を網羅することはできませんが、以下の眼科領域に関しては専門外来を設け、高度な医療の実践に努めています。

●ぶどう膜炎外来：毎週水曜日の午後、3大ぶどう膜炎のサルコイドーシス、Vogt-小柳-原田病、Behçet 病 (BD) 以外にも、急性前部ぶどう膜炎、強膜炎、急性網膜壊死を含むヘルペスウイルス関連ぶどう膜炎、そして悪性リンパ腫などの診断に苦慮する症例の診療を行っています。高齢者では、疾患に特有な所見が得られにくく、他の眼疾患を合併していることも多いため、確定診断に至らないことも少なくありません。「医療の標準化」という言葉が普及して久しいですが、ぶどう膜炎診療に関しては包括的な視点に立ったアナログでの個別化医療が今後も必要です。

●網膜硝子体外来：網膜硝子体外来は毎週水・金曜日の午前、硝子体手術前後の増殖糖尿病網膜症、黄斑円孔、黄斑上膜、黄斑牽引症候群、病的近視の患者さん、抗 VEGF 療法を必要とする加齢黄斑変性、糖尿病黄斑症、網膜静脈閉塞症の患者さんの診療を行っています。我が国の多施設共同研究グループである J-CREST の開設早期からのメンバーであり、J-CREST が中心となる臨床治験、ビッグデータに基づいた実臨床の最新のエビデンス研究に参加しています。

●緑内障外来：毎週月・火・水曜日の午前、当教室の特質上、原発開放隅角緑内障のみならず、難治性の続発緑内障、特にぶどう膜炎続発緑内障や血管新生緑内障の患者さんが多く通院しています。治療管理は点眼や濾過手術が主体ですが、難治性緑内障に対する半導体レーザー経強膜毛様体光凝固術を継続的にを行い、比較的良好な治療成績を残しています。

## 市民公開講座開催報告

令和7年2月14日（金）に開催致しました

こちらどうぞ →  
腎臓内分泌内科主催の  
糖尿病教室（年間日程）



今回は、糖尿病について腎臓内分泌内科医師・看護師による市民公開講座を開催し、40名の方に参加頂きました。

### ●『身近にある糖尿病を正しく理解する～本邦の動向と合併症を中心に～』

腎臓・内分泌内科 宇都 飛鳥 医師

糖尿病の定義や分類、診断の流れ（HbA1c だけでは高血糖を証明出来るものではないため、HbA1c のみでは糖尿病の診断はできない事）や特徴（日本人は欧米に比べ、痩せ型や小太りの方でも DM となる方がいるので、注意が必要です。超高齢化社会において、糖尿病の 2/3 が 60 歳以上です。糖尿病の合併症として、血管への影響、腎臓への影響などについて、また合併症予防や早期発見への取り組みとして生活習慣の改善ポイントとして、食生活、適正体重維持、適度な身体活動、禁煙、アルコール摂取についての説明がありました。



宇都 飛鳥 医師

### ●『糖尿病がある方も無い方も知って欲しい足の話』

中安 文恵 看護師（糖尿病看護認定看護師）

糖尿病足病変の原因や足の清潔ケアや爪の切り方から靴の選び方、履き方、歩き方等の説明がありました。

参加して頂いた一般市民の方や施設職員の方から質問も多くみられました。

※次回の市民公開講座は、9月頃に計画しております。

所沢市報【翔びたつひろば】、及び当院 HP にて案内をさせていただきます。



中安 文恵 認定看護師

## 患者支援センター、センター長に廣岡伸隆 医師が就任致しました

新年度になりメンバーも一部交代致しました。引き続きよろしく御願い致します！！

前任の患者支援センター長 池脇克則 医師（抗加齢血管内科教授）が、令和7年3月31日付で定年退官されました。池脇センター長は、平成31（令和元）年4月から患者支援センター長（地域医療連携室長）を6年間努め、地域医療機関との連携強化に尽力されました。長い間、本当にお疲れ様でした。

後任に、令和7年4月1日付で、（総合臨床部教授）廣岡 伸隆 医師が、患者支援センター長（兼務）として就任致しました。

令和7年4月1日付けで、埼玉県がん診療指定病院からがん診療地域がん診療連携拠点病院に指定されたので、ご報告申し上げます。地域の皆様の御理解・御協力があつての事で感謝申し上げます。今後より高度で質向上を図って参りたいと思いますので、宜しく御願い致します。

がん化学療法看護認定看護師も新メンバーに加わりましたので御相談下さい（予約制）。



令和7年度からの新体制のメンバーです

## 病院理念

高度で安全な医療を提供しつつ地域医療並びに自衛隊の医療・衛生活動に貢献し、優れた自衛隊医官・看護官等を育成する。

## 基本方針

- 1 患者さんの視点に立った、安全で良質な医療を提供する
- 2 地域医療機関と密に連携し、地域に貢献する
- 3 高度で先進的な医療を提供する
- 4 地域の中核として救急医療を実践する
- 5 新興感染症に対して敏速対応できる体制を整える
- 6 災害対処能力の向上に努める
- 7 自らの使命感を自覚し、豊かな人間性と高い倫理観を備え、自衛隊の多様な任務にも対応しうる医官・看護官等を育成する

## 【初診予約についてお願い】

※右のQRコードを読み取り「初診予約受付のご案内」を参照ください。

精神科、感染症・呼吸器内科、泌尿器科特殊外来【尿道狭窄症・尿意失禁(男性)】、消化器内科特殊外来(脂肪肝)の初診が依頼は完全紹介予約制とさせて頂いております。

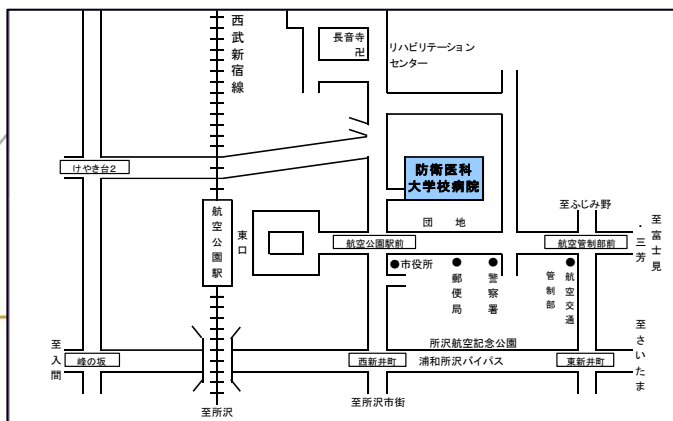
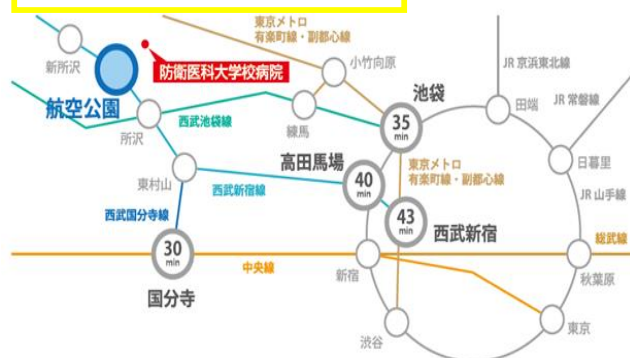


## 【診療科からのお知らせ---抗加齢血管内科より】

令和7年4月1日付の人事異動等の関係で抗加齢血管内科のスタッフが一時的に不在となっています。よって、家族性高コレステロール血症、スタチン不耐症及び深部静脈血栓症につきましては、暫くの間診療を休止させていただきます。

診療が再開されるまでの間、御迷惑をお掛けし誠に申し訳ありませんが、ご了承いただきたく存じます。

## アクセス(交通のご案内)



### ●電車でお越しの方

西武新宿線『航空公園駅』下車徒歩5分

### ●車でお越しの方

浦和所沢バイパス「西新井町」交差点を右折し約600m



地域医療連携センター  
初診予約、緊急入院・受診、  
セカンドオピニオン、病状照会等  
TEL:04-2995-1511  
内線 3043・3882

患者支援センター・がん相談支援センター  
転院・退院調整、在宅調整、医療福祉相談、  
がん患者相談、脳卒中相談等  
TEL:04-2995-1511  
内線 6123～6126